



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 292  
July  
2017

## トピックス

### 国際会議への参加

2017グローバル・プラットフォーム会合  
(メキシコ)

### ●国際会議への参加

#### 2017グローバル・プラットフォーム会合（メキシコ）

第5回防災グローバル・プラットフォームが、カンクン(メキシコ)において、5月24日から26日の3日間開催されました。

防災グローバル・プラットフォーム(GP)は、各国政府、国連システム、国際機関、地域機関、学術研究機関、市民社会、民間セクターなど防災関係者が一堂



に会する機会として国連総会決議により設置され、2007年以降、隔年で開催されてきています。第5回目となる今回の会議は、UNISDR(国連国際防災戦略事務局)とメキシコ政府の共催により、初めてのジュネーブ以外で開催されました。会合は24日朝の開会式に始まり、3日間を通じて多様なセッションが開催され、約180カ国が参加しました。ADRCからは所長が出席しました。

#### GPにおけるADRCネットワーキング・ブレイクファスト

アジア防災センター(ADRC)は防災関係者が大勢集うこの機会に、加盟国間のネットワーキングと意見交換に資するため、5月25日に朝食会を開催しました。早朝の時間帯の会議で、短期間での呼びかけにも関わらず、元VRのネットワークの御蔭で、9か国18人に御参加いただきました。この場を借りて御協力いただいた元VRの皆様にご礼申し上げます。

・ACDR2017開催に向けて、ホスト国のアゼルバイジャンから歓迎の意と会議への期待が示されました。会議期間の冒頭にカスピ海諸国の防災訓練に参加国を招待する意向が示されたほか、防災の重要性に鑑み、ハイレベルの参加について各国に呼びかけがありました。

・ADRCは昨年12月熊本地震被災地視察の際の運営委員会で、ADRCの将来的な活動の柱を議論するため、防災上の重要課題や国際協力の必要性のある事項等について、加盟国からの意見を求めました。今般、貴重な回答をお寄せいただいた6か国(アルメニア、インドネシア、カンボジア、スリランカ、フィリピン、及びブータン)からの指摘事項を報告し、GP期間中及びそれ以降に、さらなる意見交換を呼び掛けました。

この後、出席者からのラウンドテーブルを行い、各国近況等を共有しました。ADRCは、これからも、加盟国が集う様々な機会を提供し、各国が一層連携を深めながらの仙台枠組みを推進していくことに貢献してゆく所存です。

#### ADRCオフィシャル・ステートメント

今回のGPでは、ADRCは2日目午後に、ADRCとしての優先的課題につ

### Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

**続き**

いて、オフィシャル・ステートメントを行いました。この中では、プーケットにおけるACDR2016の成果である3つのポイント、メガディザスターへの対応、防災に携わる国・地方の人材の教育、コミュニティ防災の高度化、の3点、さらに、気候変動へのさらなる配慮等熊本視察以降、各国から指摘を受けた事項にも言及しました。また、ACDR2017のアゼルバイジャン開催についてもこの機会に周知しました。

GP会合は、以上の他にも多数の加盟国、関係国や国際機関と意見交換する充実した機会となりました。期間中、多数のセッションに参加した他、アゼルバイジャンとのACDR2017に関する打ち合わせを行いました。また、多くのADRC加盟国と20周年以降の将来に向けた課題などについて意見交換し、太平洋の対岸のAPEC加盟エコノミー等とも意見交換する機会を得ました。

なお、次回2019年のGPはスイス(ジュネーブ)で開催することが公表されました。

**問い合わせ・配信申し込み**

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は  
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。